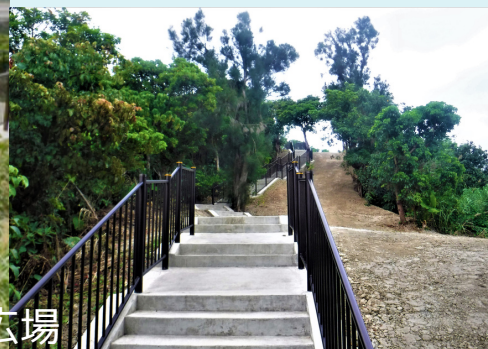




与那原町

2024年5月発行



運玉森平和学習広場

2024（令和6年）年度

与那原町の わかりやすい 予算書

目次

基礎知識編

予算とは？ P1 令和6年度の予算 P2

歳入編

令和6年度の歳入は？ P3 町税にはどんなものがあるの？ . . . P4

歳出編

どのような目的の歳出があるの？ . . . P5 ちがった視点から見ると？ P6

主要事業編

みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が網がる新しいまちづくり P7
「いちゃりばちょーでー」平和の心で網（つな）がる教育文化のまち P9
笑顔あふれるやさしいまち P11
快適に暮らせる美しいまち P13
「ひと」と「人」が網（つな）がる安心・安全なエコタウン P15
伝統を継承し未来に網（つな）げる産業のまち P16

重要施策編

①大型MICE P16
②子どもの貧困対策 P17
③生涯健康づくりの推進 P17

国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計 P18
与那原町議会 P18

基礎知識編



Q 予算って何ですか？

A. 予算とは、1年間の「収入」と「支出」を見積もることです。

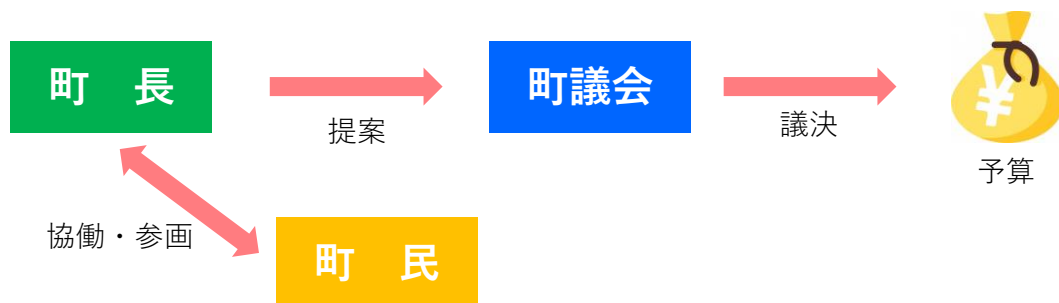
新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年3月まで)にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積もります。



Q 予算はどうやって決まるのですか？

A. 町長が作った予算案が、町議会の審議と議決によって予算として成立します。

役場の担当課が、町の最上位計画である総合計画に基づき、1年間の行政サービスを検討します。町長は各担当課の案を自分の考えにそって予算案としてまとめ、町議会に提出します。町民の代表である町議会議員は、提案された予算案を審議したうえで、町議会の議決により予算を決定します。



Q 予定外のお金が必要になったときは？

A. 予定外の支出に必要な予算を「補正予算」として見積り、町議会へ提出します。

自然災害など、当初の見積りでは想定していなかった予定外の経費が必要となった場合には、それに対応するための予算案を作り、町議会へ提出します。これを補正予算といいます。

基礎知識編



Q 令和6年度の与那原町の予算は？

A. 一般会計、特別会計、公営企業会計の全ての会計をあわせると、**138億8559万円**になります。

一般会計
100億3150万円

福祉や防災、教育、道路整備など町の基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計
24億6170万円

特定の目的のための会計で、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計があります。

公営企業会計
13億9239万円

民間企業と同じように事業収入で運営している事業の会計で、水道事業会計、下水道事業会計があります。

公営企業会計
13億9239万円

一般会計
100億3150万円

特別会計
24億6170万円

特別会計 内訳

国民健康保険特別会計 22億8887万円

国民健康保険税を主な財源として、被保険者が病気やけがをした場合の医療給付事業を行っています。

後期高齢者医療特別会計 1億7283万円

後期高齢者医療保険料を主な財源として、後期高齢者(75歳以上)への医療給付事業を行っています。

公営企業会計 内訳

水道事業会計 6億1843万円

水道料金を主な財源として、水道水の供給、施設の新設や修繕などを行っています。

下水道事業会計 7億7396万円

下水道料金、町からの繰入金を主な財源として、各家庭からでた汚水を処理場へ運ぶための污水管や雨水を海まで運ぶ雨水管の新設、修繕などを行っています。

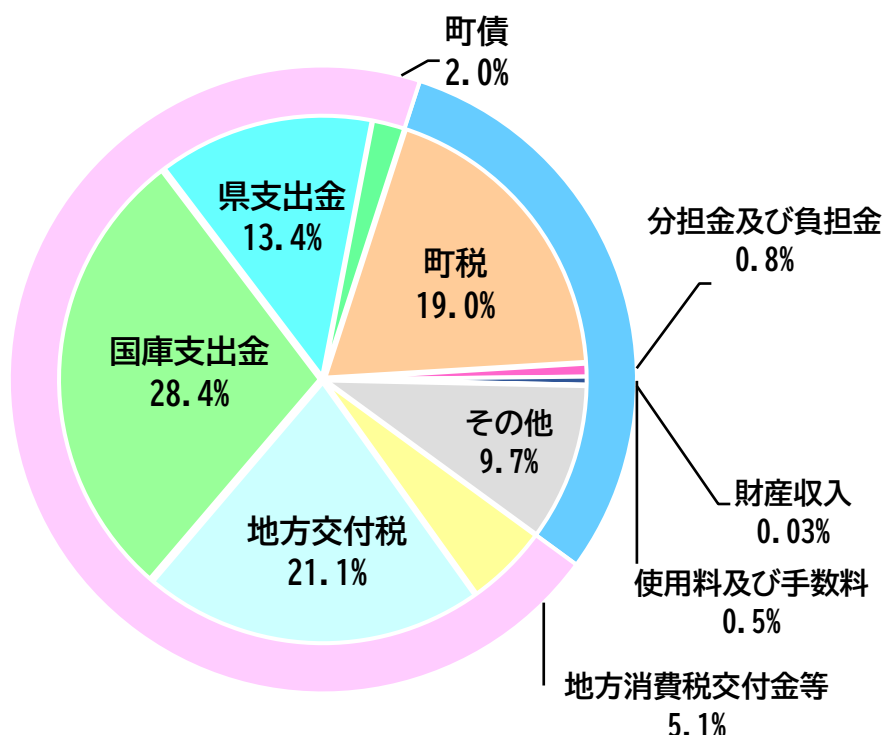
歳入編



Q 令和6年度の与那原町の歳入は？

A. 一般会計の歳入には、町税や国・県からの支出金（補助金）、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。

一般会計歳入予算



依存財源 70.0%

地方交付税 21億1800万円

国が徴収した国税から、市町村の財政状況に応じて交付されるものです。

地方消費税交付金等 5億0962万円

皆さんが納めた消費税の一部を、一定の割合に応じて交付されるものです。

国庫支出金 28億5364万円

市町村が行う特定の事業について、国から交付されるものです。

県支出金 13億4024万円

市町村が行う特定の事業について、県から交付されるものです。

町債 1億9630万円

市町村が行う借入のことです。道路や学校などの公共施設を建てる際の資金として調達するものです。

自主財源 30.0%

町税 19億1003万円

皆さんが町に納めていただく税金です。個人住民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。

分担金及び負担金 7862万円

事業にかかる費用の一部を、受益（サービス利用）の程度に応じて利用者に負担していただくものです。

使用料及び手数料 4904万円

町の施設の利用や各種証明書を発行する際にいただいているお金です。

財産収入 338万円

町が持っている財産（土地）の貸付や売り払いなどによって得られるお金です。

その他 9億7264万円

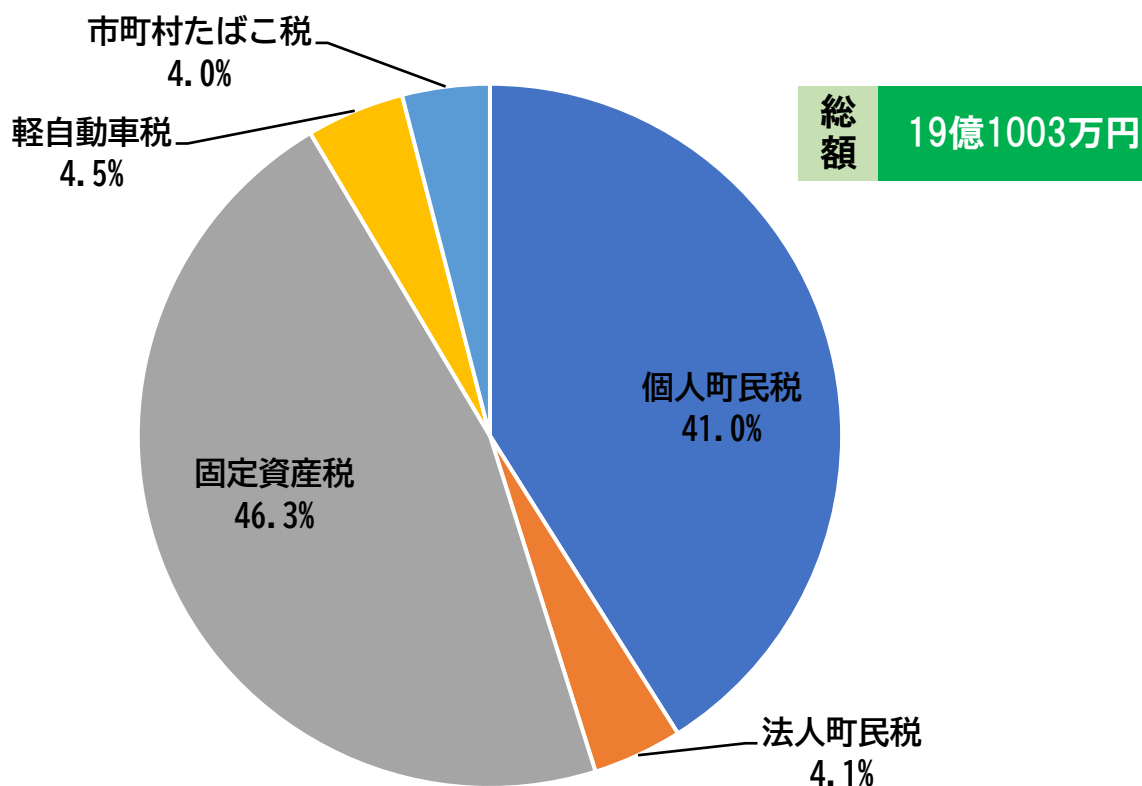
町の基金（貯金）からの繰入金や寄附金などです。



Q 町税にはどのようなものがあるのですか？

A. 与那原町の町税には以下のものがあります。

個人町民税	町民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	7億8382万円
法人町民税	町内の会社(事業所)が収益などに応じて納める税です。	7862万円
固定資産税	土地や家屋などを持っている方が納める税です。	8億8476万円
軽自動車税	軽自動車やオートバイなどを持っている方が納める税です。	8605万円
町たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	7679万円



Point!

「自主財源」とは町が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や町債(借金)のことです。「自主財源」の割合が大きいほど財政は安定しているといえます。

与那原町は約3割が自主財源で、残り7割を依存財源に頼っている状況です。

歳 出 編



Q どのような目的の歳出があるの？

A. 福祉、教育や土木といった主な11の目的の歳出があります。

議会費 1.0% 町議会の運営に必要な経費です。 議員報酬、政務活動費等 9721万円	総務費 21.3% 役場の維持管理費など役場の全体的な仕事に必要な経費です。 庁舎警備・清掃委託料、電算システム保守費など 21億3828万円	民生費 40.6% 高齢者福祉や子育て対策などに必要な経費です。 介護サービス給付、児童手当、保育所運営費補助など 40億7407万円
衛生費 7.4% 保健衛生やごみ処理などに必要な経費です。 予防接種費、ごみ収集委託など 7億4037万円	農林水産業費 0.4% 農林水産業の振興や普及に必要な経費です。 農業委員会運営費、町民農園運営費など 3700万円	商工費 1.5% 地域商工業の振興、観光事業などに必要な経費です。 町商工会補助金、与那原大綱曳まつり運営補助金など 1億5325万円
土木費 7.4% 道路や公園の整備・管理などに必要な経費です。 道路新設工事、修繕工事、公園清掃委託など 7億3984万円	消防費 3.0% 消防・救急活動などに必要な経費です。本町は東部消防組合への負担金となります。 東部消防組合(与那原町、西原町、南風原町の3町で構成)への負担金 2億9806万円	教育費 10.5% 小中学校の教材や備品、校舎の維持管理など学校教育に必要な経費です。 各学校庁舎の修繕費、学習支援員、特別支援員の報酬など 10億4986万円
公債費 6.6% 借入したお金(町債)の返済に必要な経費です。 6億6350万円	予備費 0.4% 緊急的な支出に充てるために備えた経費です。 4000万円	

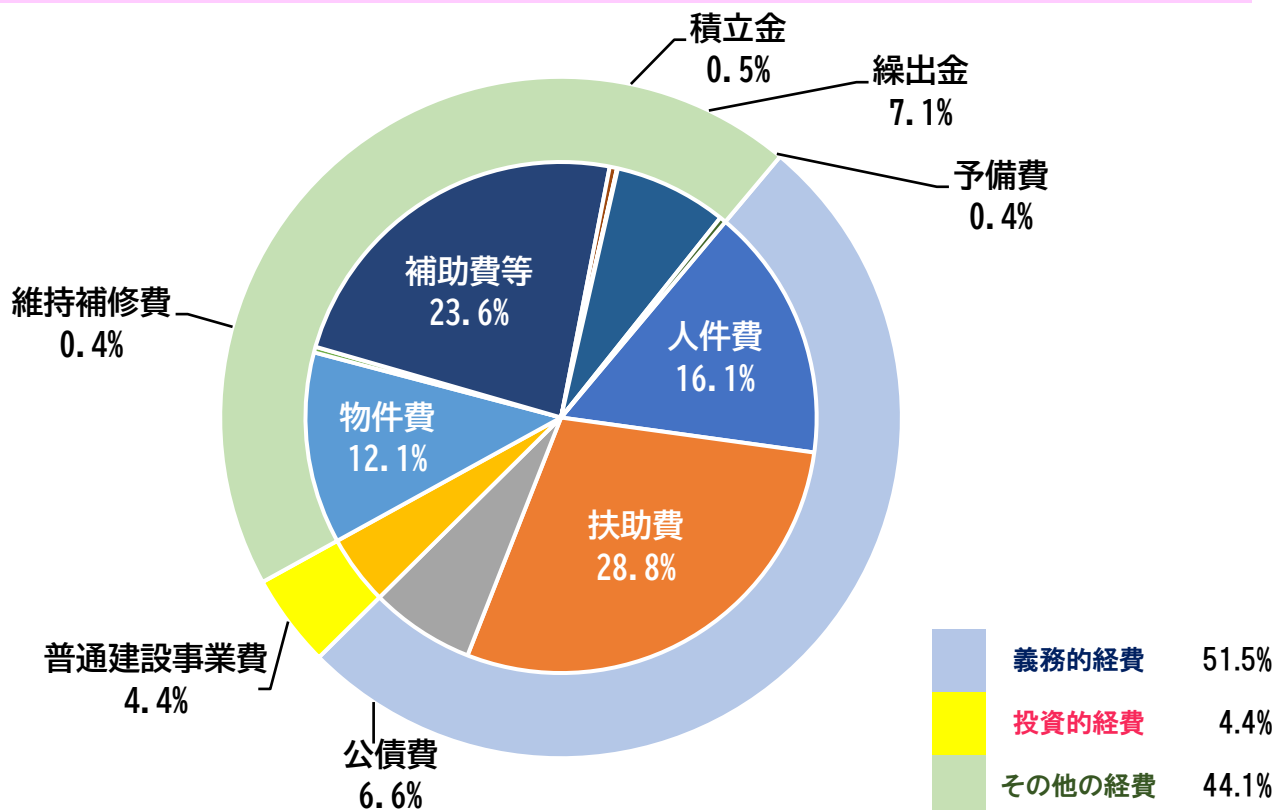
Point!

一般会計100億3150万円のうち、41%が介護サービスなどの福祉に係る給付費や保育所の運営費補助などの子育て対策といった社会保障関係の経費である民生費となっています。



Q ちがった視点から見ることはできるの？

A. 経費の経済的な性質に着目した性質別という分類で見ることができます。



義務的経費

- ・人件費
- ・扶助費
- ・公債費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらは毎年度必ず支出しなければならない経費になります。

人件費・・・職員や会計年度任用職員の給与、報酬など

扶助費・・・介護サービス給付、保育所運営費補助など福祉や医療に係る経費

公債費・・・借入したお金(町債)の返済に必要な経費

投資的経費

- ・普通建設事業費

道路や学校など公共施設の建替えや改築などを行うための経費になります。

その他の経費

- ・物件費
- ・維持補修費
- ・補助費等
- ・積立金
- ・繰出金

物件費・・・光熱水費、消耗品費、委託料など

維持補修費・・・公共施設の修繕費

補助費等・・・東部消防組合への負担金など

積立金・・・各基金(町の貯金)への積立金

繰出金・・・特別会計の収入を補うための経費

主要事業編

ここからは、各課の主な事業の紹介をしていきます。

1. みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり

1-① 人づくり・地域づくり

総務事務運営事業(自治会交付金)

総務課

予算額

104万円

与那原町には13の自治会・行政区があります。各行政区の賑わい創出及び地域活性化を目的として、各種支援を実施しております。ぜひ、お住まいの行政区イベントなどに参加をしてみたいかでしょうか。各自治会の情報はQRコードからご確認ください。



1-③ 情報の共有・共鳴で築くまち

情報政策運営事業(町公式LINE)

総務課

予算額

295万円

町行政のデジタル化を推進するための事業です。その1つである町公式LINEでは、各お知らせ、ごみの分別検索、各オンライン申請などの様々な機能を構築済みです。登録者数は2024年1月時点で約11,600人と町民の半数近くが登録していただいております。町民の皆様からの機能の要望も、LINEメニューの目安箱より随時受付中！



@yonabarutown

LINEの「友達」追加から「QRコード」または「ID検索」で登録してください。

1-④ 行財政運営

コンビニ交付サービス事業

住民課

予算額

691万円

令和6年4月1日から、町民がマイナンバーカードを使ってコンビニのマルチコピー機で税証明書や住民票などの交付を受ける際の手数料を、現行の300円から10円に引き下げます。令和8年3月31日までの2年間。この機会にコンビニ証明書交付サービスの利便性をご体験ください。



取得できる証明書

- 各種税証明書(10円/件)
- 住民票の写し(10円/件)
- 印鑑登録証明書(10円/件)
- 戸籍の附票の写し(10円/件)
- 戸籍証明書(450円/件) 変更なし

利用時間：午前6時30分～午後11時まで(土日、祝祭日も利用可)

1-④ 行財政運営

指定金融機関等事務事業

会計課

予算額

1566万円

町の委託を受けて町税などの公金の収納や支払いの事務をとりまとめる金融機関のことを指定金融機関といいます。役場庁舎内には指定金融機関の派出所(銀行窓口)があります。



納め忘れはありませんか?



派出所での受付時間 午前9時～12時・午後1時～3時

※受付時間以降の町税・料などの支払いについては、各課窓口でお尋ねください。

1. みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり

1-④ 行財政運営

企業版ふるさと納税活用推進事業

ブランド推進課

与那原町が実施する

3つの地方創生プロジェクト

1 安心して働けるまち

稼ぐ地域をつくり安心して働けるようにするとともに、新しいひとの流れをつくる



2 子育てにやさしいまち

結婚・出産・子育ての希望をかなえる



3 安心して暮らせるまち

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる



与那原町まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）に掲げた創生推進事業の取組に対して企業から寄附を募る制度です。これまでに760万円の寄付を頂いており、様々な事業に活用します。

予算額

458万円

問い合わせ先 ブランド推進課 098-945-5323

1-④ 行財政運営

納税賦課徴収事業

税務課

各税目【個人町県民税・固定資産税・軽自動車税・法人町民税・たばこ税】の賦課・徴収事務に係る経費です。納税通知書、納付書、督促状などを発行するための印刷代やコンビニでの納付を可能にするため、各コンビニ事業所へ支払う手数料などがあります。

個人町県民税、固定資産税、軽自動車税、法人町民税については、納付書に印字された地方統一QRコードを利用することで、全国の地方税統一QRコード対応金融機関や対応のスマートフォン決済アプリから納付が可能です。

<対応するスマホ納付アプリ>

PayPay、LINE Pay、OKI Pay（沖銀）、ゆうちょPay（ゆうちょ銀行）、はまPay（横浜銀行）、J-Coin Pay（みずほ銀行）、d払い（NTTドコモ）、au PAY、etc...

予算額

2256万円



PayPay ゆうちょPay

1-④ 行財政運営

自治体DX推進事業

総務課

与那原町においては、今後行政のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を推進し、マイナンバーカードを使った行政手続のオンライン化やSNSを活用した情報発信の充実などデジタル技術を活用した町民サービスの向上を図ります。その一環として令和6年度は申請・申込などのさまざまな行政手続において、オンライン申請及びRPA・AI等システムを導入することで、業務効率化を図ります。オンライン申請ができることにより手続が便利になるほか、効率化されることで、申請から決定までの期間短縮といった町民サービスの向上を目指します。

予算額

2939万円

システム導入により事務効率アップ

オンライン申請の流れ（イメージ）



紙申請書の流れ（イメージ）



2. 「いちゃりばちよーでー」平和の心でつながる教育文化のまち

2-① 学校教育の充実

きめ細かな児童生徒支援事業

学校教育課

小中学校において、児童・生徒の学習サポートを行うための学習支援員の配置、特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活及び学習の支援を行うため特別支援教育支援員の配置を行います。そのほかに1人1台のタブレットを活用した情報教育を支援するための情報教育支援員を配置しています。

予算額

1億1613万円



学習支援員配置による授業風景

2-① 学校教育の充実

JETプログラム事業

学校教育課

JETプログラムを活用して、児童・生徒の国際理解と外国語授業の充実を図ります。

現在、アメリカ出身者2名、イギリス出身者1名のALTを配置しています。

※JET プログラムとは、外国青年招致事業（The Japan Exchange and Teaching Programme）の略で、外国青年を招致して外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。

※ALT（Assistant Language Teacher）とは外国語を母国語とする外国語指導助手のことです。

予算額

1441万円



ALTによる授業風景

2-① 学校教育の充実

不登校対策等事業

不登校児童生徒に対する登校復帰や不登校となる状況を未然に防ぐために、校内自立支援室を小中学校に設置し、校内自立支援員による登校支援や学習支援を行います。また、町独自の学校カウンセラーを学校現場に派遣し、児童生徒や保護者の方々の相談業務を行っています。

予算額

2021万円



2-④ 地域交流と支援体制

与那原町青少年人材育成交流事業

生涯学習振興課

町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣を行い、現地での交流を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。

予算額

248万円



R 5 年度は北海道浜中町へ派遣

2. 「いちゃりばちよーでー」平和の心でつながる教育文化のまち

2-④ 地域交流と支援体制

図書館事務運営事業

生涯学習振興課

予算額

1986万円

図書館は、資料の収集・保存・整理・提供を行う施設です。図書だけでなく新聞や雑誌、CD・DVDまで幅広く取りそろえています。

また特設展示による資料紹介や、季節に合わせたイベントを行い、町民の読書活動を推進しています。



2-⑥ 文化の保全・継承

町史編集事業

生涯学習振興課

予算額

1424万円

町史編集事業は、本町の歴史や文化を調査・記録した内容を『与那原町史』として発刊することを目的とした事業です。これまでに、移民編や戦争編、戦後編、教育編、自然編が発行され、令和6年度末には民俗・芸能編が発刊予定です。

今後も「与那原らしさ」を大切にしたい、町民の皆様に親しまれる町史を発刊してまいります。



聞き取り調査の様子

2-⑤ 心と体を育むスポーツ環境づくり

与那原町観光交流施設維持管理事業

生涯学習振興課

予算額

1619万円

与那原町観光交流施設は、町民の文化・芸術・教育・福祉・スポーツ活動振興並びに心身の健康増進を図ること、来訪者との交流、与那原町の観光振興・情報発信をすることを目的とし、災害発生時対応の拠点としての機能も有する施設です。各種多くの事業や教室を行っています。



2-⑥ 文化の保全・継承

町民ホール管理運営事業

生涯学習振興課

予算額

574万円

2021年春に開館した与那原町上の森かなちホールの管理運営を行う事業。コンパクトな町に似合うコンパクトなホールで、親族のお祝いから本格的な舞台公演まで目的に応じて幅広く利用でき、町民の文化活動・生涯学習の取組を育みます。また災害時には避難施設としても機能し、町民の命とくらしを守ります。



3. 笑顔あふれるやさしいまち

3-① 子育て環境づくり

保育給付事業(施設型、地域型)

子育て支援課

予算額 11億4366万円

仕事などで日中保育することができない保護者に代わり、0～5歳の児童を保育する認定こども園・認可保育所・地域型保育事業所に対して、財政支援（運営費用の補助）を行っています。

(認定こども園・認可保育所)

町内8施設、町外8施設が対象（見込み）となっています。

(地域型保育事業)

町内6施設が対象（見込み）となっています。



3-① 子育て環境づくり

子ども医療費助成事業

子育て支援課

予算額 1億1231万円

子育て世帯の経済的負担を減らすため、医療費の自己負担分を原則窓口での支払いが必要ない現物給付により支給しています。令和6年4月からは、対象者を拡充し、高校生までを助成します。



3-① 子育て環境づくり

児童手当等支給事業

子育て支援課

予算額 4億2743万円

児童手当は、子ども・子育て支援の適切な実施を図り、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な成長に資することを目的としています。

支給対象は、0歳から中学生までで、毎年6月、10月、2月に支給されます（※所得制限あり）。

※法律の改正により、対象年齢及び支給額等が変更となる場合があります。

【児童手当の支給額】

子どもの年齢	支給額（月額）
 0～3歳未満	15,000円
 3歳～小学校終了前	10,000円 15,000円（第3子以降）
 中学生	10,000円
 所得制限世帯	5,000円（特例給付）

3. 笑顔あふれるやさしいまち

3-③ 障がい者(児)福祉

自立支援給付事業

福祉課

予算額 10億5731万円

身体、知的、精神に障がいを抱えた方に支援サービスの提供や、医療費の助成等を行います。

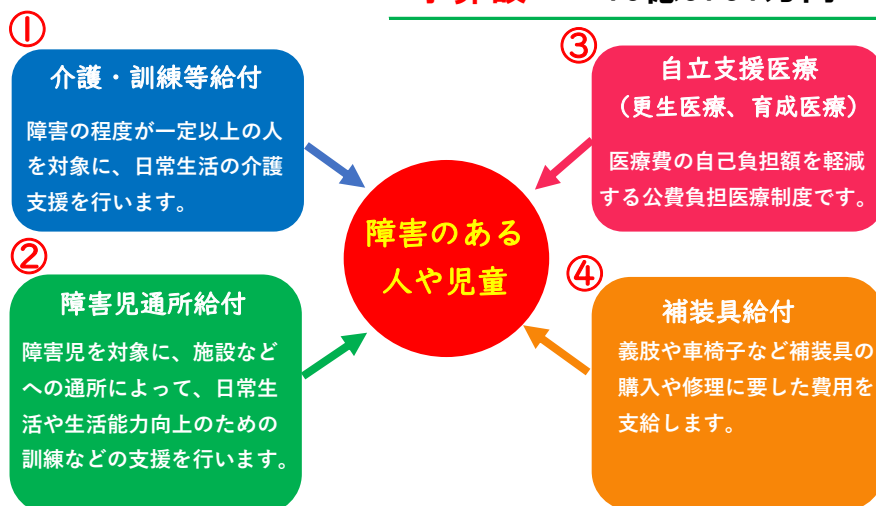
①介護・訓練等給付

②障害児通所給付

③自立支援事業
(更生医療、育成医療)

④補装具給付

※世帯所得により自己負担額が異なります。



3-③ 障がい者(児)福祉

交流センター(ひざし)運営事業

福祉課

予算額 718万円

障がいをもつ方やその家族が悩みや不安を相談できる場所、障がいがあるなしにかかわらず地域の人々と交流できる場所、基本的な生活習慣を身につける場所として運営しています。また、地域活動支援センターを設置し創作活動などの事業も展開しています。



3-④ 高齢者福祉

地域支援事業(総合事業)

福祉課

予算額 3158万円

介護保険制度で市町村が行う事業です。何歳になっても健康な状態を保てるように予防事業を行うとともに、万が一介護が必要になった場合でも、可能な限り自立した生活ができるよう支援します。

介護予防・日常生活支援総合事業

1. 一般介護予防事業：元気アップ教室、ボウリング教室など

2. 介護予防・生活支援サービス事業



元気アップ教室



ボウリング教室

4. 快適に暮らせる美しいまち

4-② 道路環境の整備

道路新設改良事業

まちづくり課

道路新設改良事業は、国からの補助金を活用して新しい道路をつくったり、今ある道路や橋を直したりする事業です。今年度は、新しい道路をつくる事業を3つ、道路の水たまりをなくす事業を2つ実施します。

○沖縄振興公共投資交付金事業 8164万円

○社会資本総合交付金事業 6710万円

予算額

1億4874万円



工事中の上与那原前の井（メニューカー）線

4-③ 交通環境の充実

交通環境構築事業

企画政策課

過度に自動車に依存せず誰もが快適に移動できる交通環境を目指し、公共交通を含む多様な移動手段の利便性向上を図ります。

公共交通を身近に感じバスの利用促進を図る、『小学生向け「バスの乗り方教室」の実施』や、新たな移動手段の選択肢としての『シェアサイクル導入実証実験』を行います。

予算額

1043万円



4-⑤ 上水道、4-⑥ 下水道

水道事業、下水道事業

上下水道課

水道事業

水道事業は、『安全で安心な水』を安定して供給するための費用を、町民の皆さんからの水道料金でまかっています。集めた料金は、県からの水の購入・漏水の調査や修理・検針業務・施設の新設や維持管理・水質検査・人件費等に使われています。

予算額(水道)

6億1843万円

予算額(下水道)

7億7396万円



水道管布設工事の様子

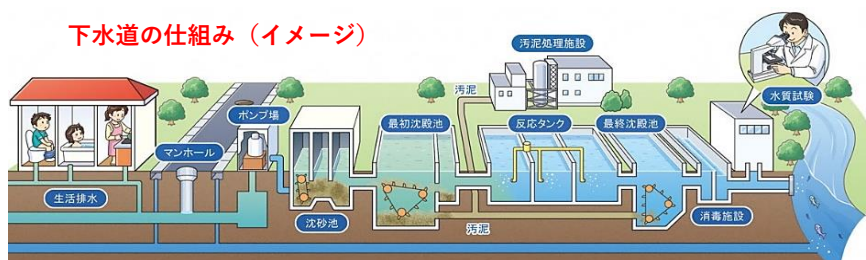
下水道事業

各家庭からの汚水を処理場へ運ぶための污水管や、まちに降った雨で浸水被害が起こらないように、川や海まで運ぶ雨水管を道路の下に埋める工事をします。また、工事をするときに必要な調査・設計や支障となる水道管などの移設補償もこの事業で行います。

令和5年12月末の整備状況

①行政人口	19,930人
②使用可能人口	17,043人
③使用人口	13,210人
④普及率(②/①)	85.5%

下水道の仕組み(イメージ)



4. 快適に暮らせる美しいまち

4-⑦ 公園・緑地の推進

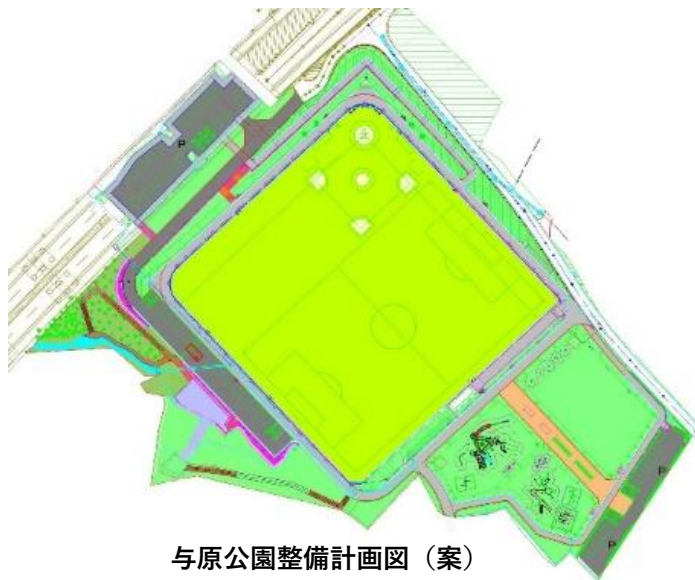
沖縄振興公共投資交付金事業(公園)

まちづくり課

予算額

1億5244万円

与原公園は、平成3年に近隣公園として供用開始されてから30年余りが経過しており、施設の老朽化等が進んでいることから、公園全体の再整備に取り組んでいます。公園敷地を拡大し、多目的グラウンドや大型遊具、駐車場などを整備し、町民の憩いとレクリエーションの場として機能強化を図ります。



与原公園整備計画図(案)

4-⑧ 住宅政策

町営江口団地大規模改修事業

公共施設課

予算額

7550万円

平成17年に建設され、築19年目を迎える町営江口団地について、前年度より外壁及び屋根防水等の大規模改修工事を行っております。

前年度はC・D棟の改修工事を完了し、今年度はA・B棟の改修工事を行います。

施設管理においては、劣化などの不具合が表面化して修繕を行う維持管理から、計画的な修繕を行う予防保全とすることにより、長寿命化を図ります。

町営江口団地



B棟



A棟

5. ひとと人が綱がる安心・安全なエコタウン

5-① 消防・救急

東部消防組合負担金事業

生活環境安全課

与那原町・西原町・南風原町の消防行政を担う東部消防組合に対して、3町でその運営費を分担しており、消防機能の強化に取り組んでいます。

予算額

2億9806万円



令和5年度ハートライフ病院合同訓練

5-③ 防犯・交通安全

交通安全施設整備事業

生活環境安全課

地域の交通安全ボランティアの見守り活動の保険や老朽化した交通安全施設（カーブミラー等）の取替や町内危険箇所等へ交通安全対策工事を行います。

予算額

1247万円



令和5年度に実施した交通安全対策（新島区・板良敷沿岸線）

5-④ 環境保全・循環型社会

清掃事務運営事業

生活環境安全課

与那原町内の家庭から出るごみの収集から焼却施設への搬入を行うほか、ごみ袋や粗大ごみ処理券の製造、生ごみ処理機を購入した方への補助などを行っています。

予算額

6771万円



収集後分別されたごみ
（東部環境美化センター）

6. 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち

6-① 農林水産業の振興

町民農園運営事業

ブランド推進課

町民が自然に親しみ、収穫する喜びを味わい、農業に対する理解を深めてもらうことを目的として、「いきいき町民農園」を運営しています。

問い合わせ先

ブランド推進課 098-945-5323



予算額

23万円



6-③ 観光

商工業振興事務運営事業

ブランド推進課

地域商工業者の振興発展、商工業の総合的な改善発展を図る
与那原町商工会の活動補助をおこない、各事業所に対して経営
に関する指導・助言や、講習会等を開催して事業をサポートし
ます。また地場産業の窯業振興や赤瓦街並み景観形成の促進を
図るため、沖縄赤瓦を使用した建築物の建築主に対し奨励金を
交付します。

予算額

956万円



与那原町赤瓦奨励金
最大30万円補助します！

6-③ 観光

与那原町魅力発信事業

ブランド推進課

与那原大綱曳まつりの運営やPR活動、軽便駅舎の魅力強化・
PR事業、地域活性化イベントを実施します。また、与那原町
キャラクター(つなひきかちゃん)の運用、SNSを活用し町内の
魅力発信を行います。さらに、新たな与那原町観光ビジョンを
策定し、計画的な観光振興に取り組みます。

予算額

4049万円



全町(庁)体制で推進すべき重要施策

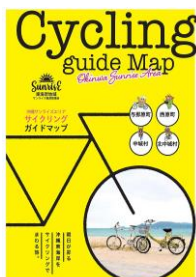
重要施策① 大型MICE施設

東海岸地域サンライズ推進事業

企画政策課

東海岸サンライズ推進協議会は、与那原町、西原町、中城
村、北中城村の4町村で構成しています。東海岸地域が魅力あ
る地域となるよう様々な事業を実施しています。最近では、ス
ポーツツーリズム構築に向けた事業をしたり、サイクリングの
イベントを開催しています。

サンライズエリア
サイクリング
ガイドマップ



予算額

50万円



サイクリングイベントの様子

全町(庁)体制で推進すべき重要施策

重要施策② 子どもの貧困対策

子どもの貧困緊急対策事業

子育て支援課

将来を担う子供たちの深刻な貧困に対応するため、地域の実情を踏まえた支援員の配置や子どもの居場所づくりを行い、子どもが抱える課題や問題の解決を図ります。

①児童自立支援員の配置

支援員2名を配置し、学校や関係機関と連携し、貧困により様々な課題をかかえている児童を早期発見し、環境改善を図ります。

②子どもの居場所づくり運営支援

子どもがいきいきと過ごせる居場所を提供し、生活指導や学習支援、食事の提供などを行う個人、団体に対して、運営費の補助を行います。

予算額

1651万円

町内の子どもの居場所 3か所

- ①つなひき無料学習塾
- ②まある家あがり
- ③まある家よなばる



重要施策③ 生涯健康づくりの推進

母子保健事業・成人保健事業

健康保険課

母子保健事業

親子健康手帳の発行から始まり、お母さんとおなかの赤ちゃんが妊娠期を健やかに過ごせるよう妊婦健診や保健相談を実施しています。出生後は乳幼児健診や健康相談においてお子さんの成長・発達を保護者と確認するとともに、育児に関するさまざまな相談に応じます。また、子どもたちや妊婦さんを感染症から守るための予防接種を行います。

予算額

6954万円

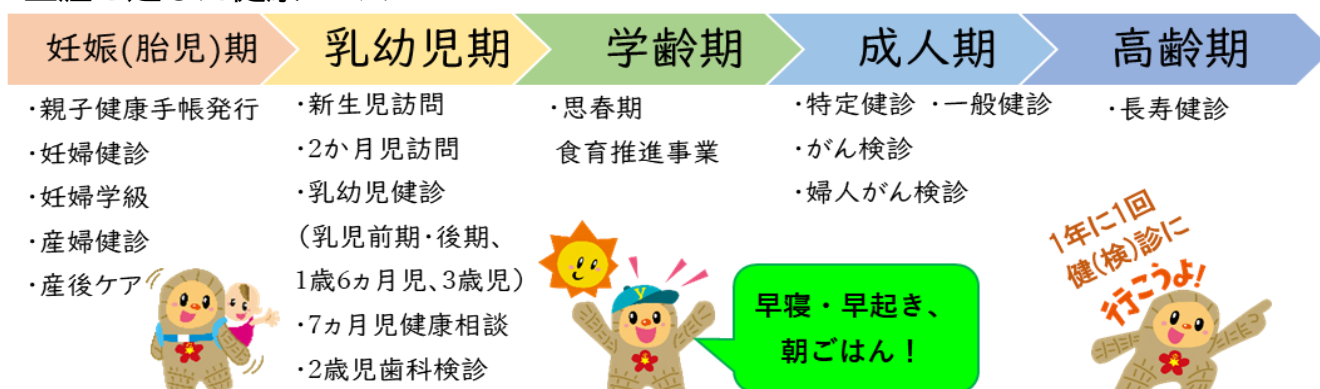


成人保健事業

人生100年時代を見据えて健康寿命の延伸（生涯現役）を図るため、内臓脂肪蓄積による生活習慣病の予防に着目した特定健診及びがん検診等の実施と、健診結果をもとにした保健相談を行っています。また、一体的実施事業にて75歳以上の後期高齢者へも同様の個別支援に加えて、通いの場を活用した健康教育を実施しています。



生涯を通した健康づくり

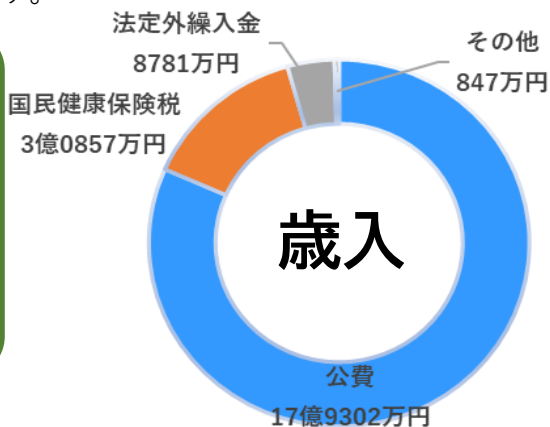


国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計

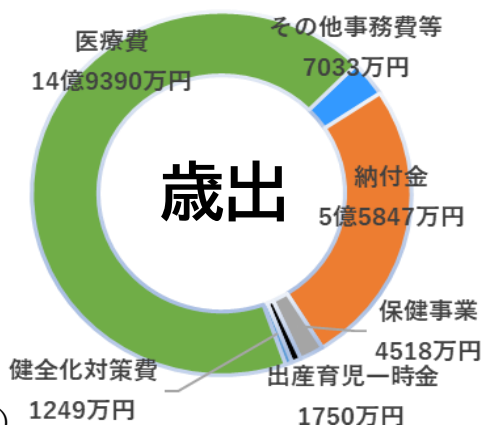
国民健康保険特別会計 **予算額 22億8887万円**

国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金（保険税）を出し合い、病院にかかるときの医療費に充てる助け合いの制度です。その運営を行うために一般会計とは別に国保特別会計が設けられています。

国保会計の歳入は、皆さんから納めてもらう国保税のほかに、法律で定められた公費があります。それらを元に医療費などの支出（支払い）を行っています。

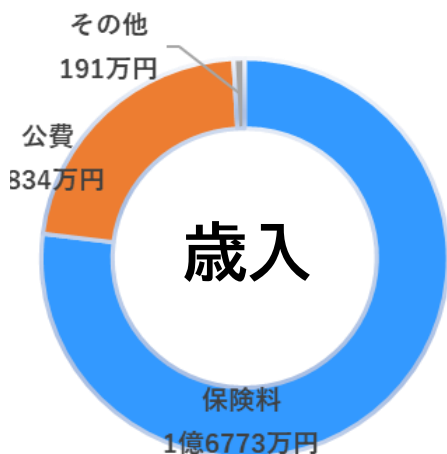


(単位：万円)



後期高齢者医療特別会計 **予算額 1億7283万円**

後期高齢者医療制度は75歳以上（65歳以上の一部も含む）の方が加入する医療保険制度です。



(単位：万円)



後期高齢者医療は、県内全市町村が加入する「沖縄県後期高齢者医療広域連合」が運営主体となることから、町から広域連合へ納付金という形で支払いをしています。



与那原町議会

議員運営、議員報酬

議会事務局

議会は、町民の中から代表（議員）を選び、町の事業や予算をどのように使うかを話し合って決めるところです。現在、14名の議員が町民の代表して活動しています。議員報酬や議員の研修費用などの予算があります。

予算額 7537万円

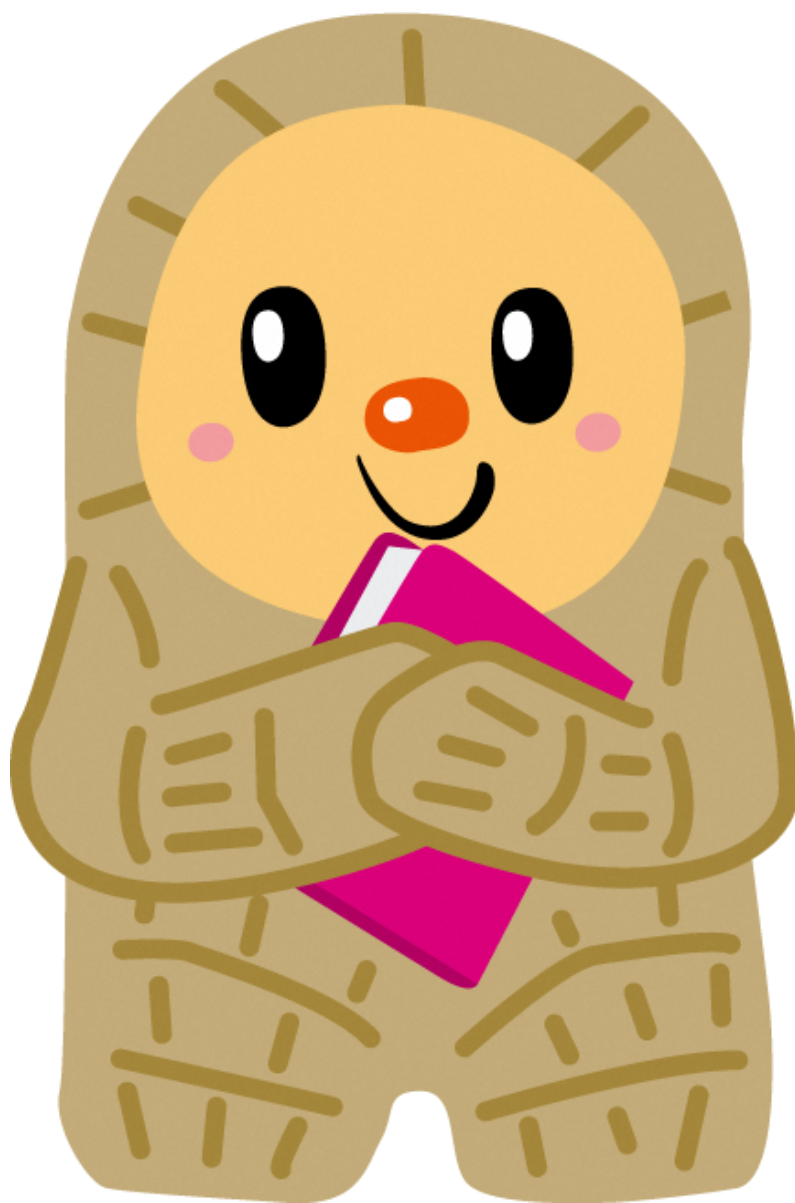
議員報酬（年額）

議長	464万円×1名
副議長	394万円×1名
委員長	381万円×4名
議員	371万円×8名



町議会HPは
こちらから→





与那原町のわかりやすい予算

【発 行】与那原町財政課

【お問合せ】〒901-1392

沖縄県島尻郡与那原町字上与那原16番地

電話 098-945-6521

FAX 098-946-6074